

★漢方談義★

◆桑◆ クワ科 クワ

太田順康

先日美智子皇后が蚕にクワの葉を与える行事のニュースが報道されました。これは歴代皇后のお仕事だそうです、今回は最後のお仕事だとのことでした。来年は雅子さんが引き継がれるそうです。

桑は随分古い時代に中国から朝鮮半島を通り蚕と一緒に日本に渡来してきたといわれています。この時入って来た桑は「カラグワ(唐桑)」で従来有った野生の日本産の「クワ」とは区別されていますが、葉としてはどちらも使われています。

私の子供のころは少し足を伸ばせば桑畑がありました。桑の実を採りに(空りに?) 遠征したものです。

口の中が真っ赤になっていてすぐばれて叱られたものです。

果実、枝、葉、根皮など全部葉になります。

果実桑椹そうじんといって熟したものを蒸して乾燥します。

1日10g~15gを煎じて服用すると肝臓、腎臓の機能を高めると云われています。また焼酎1.8%に果実500g砂糖150gを漬けたものは疲労回復や滋養強壯の働きがあります。

枝は桑枝そうしといって、春先の伸びた若い枝を刻み乾燥させて使います、1日30gを煎じて服用します。神経痛、リウマチ、関節炎に枝下があります。

葉は秋口の充分成長したものを乾燥させて使います。

1日5~10gを煎じて服用すると糖尿病に効果があります。またお茶と同じように急須でお湯をさして服用する(煮出さない)と便秘、高血圧の予防に良いようです。

根は桑白皮そうはくひといって、冬に掘り出した太い根の皮の部分を書いて乾燥させます。

1日10g煎じて服用すると、利尿、血圧降下、血糖値降下の効果が期待できます。また焼酎1.8%200gを細かく刻み、砂糖200gをに漬けて高血圧の予防に服用します。

在禪洞

すやか教室 山歩き

お知らせ

曜日と時間：毎週金曜日 10:30~

☆雨のときは、中止します。

☆お茶など飲み物を持参しましょう。

<7月の予定>

6日(金) 13日(金) 20日(金)

27日(金)

暑い夏がやってきました。岐阜の夏は湿度も高くして大変。7月・8月、今年の夏はどんなでしょうか。松尾池から少し登ったところに、「萩の滝」があります。流れ落ちる滝つぼは涼しく、トンボたちがよく来ています。近くの岩肌にはコケ類がびっしり、一年中水滴したり落ちる様は、いのちの循環を感じます。

§ 漢方相談日

担当：太田順康：日本漢方交流会認定漢方終身師範。
岐阜県漢方研究会会長、岐阜薬科大学「漢方学」講師

今月の漢方相談日は、下記のとおりです。

9日(月) 23日(月) 30日(月)

§ 7月の休診日

16日(月・海の日)

§ 甲狀腺エコー検査を始めました。

ご希望の方は、受付までお申し出ください。

古い中国の医書には、旧暦の3月3日に東南の方向に延びる根の皮を黒焼きにして、王不留行散おうりゅうぎょうさんと云う金創(刀傷など)の薬で傷口に散布したり、服用したりしたようです。王不留行散の他の薬味にはこんな細かい規定は有りませんが、何故かは判りません。易学的な意味があるのかもしれませんが。

桑の葉と麻の葉をゴマ油に漬けておいて、頭皮に刷り込むと抜け毛予防になると云われていますが麻の葉を持っていただけで犯罪になります、ご注意ください!

(つづく)